

第7回 江古田映画祭

2018 3.11 福島を 忘れない

©ガタロ

会場①

2/24(土) 武蔵大学

予約不要

練馬区豊玉上 1-26-1
1号館地下 1002 シアター教室

13:00 ~ オープニングイベント + 上映 + ライブ

上映作品 ■「SHIDAMYOJIN」71分
ライブ ■吠え続けるミュージシャン
参加費 1000円 遠藤ミチロウのミニライブ

会場②

2/25(日)

上映作品

■カノンだより vol.5 鎌仲ひとみ監督 2017年137分
原発事故を契機に始まった動画メルマガ。その集成第5作は、エネルギーシフトや区域外避難家族を丁寧に見つめた。

■福島県立相馬高校放送局 震災を伝える (2014年) 福島県立相馬高校放送局
上映と解説: 120分 福島の沿岸部の高校生たちが震災や原発事故をドキュメンタリーや映像で伝える作品群で、大人の視点とは違った震災が伝わってくる。

■水俣 - 患者さんとその世界 土本典昭監督 1971年120分
日本のドキュメンタリー史に残る土本監督の金字塔。映画をきっかけに埋もれた患者さんの申請が始まり、チッソや行政の責任を問う動きが本格化した。

■いのちの岐路に立つ~核を抱きしめたニッポン国~ 原村政樹監督 2017年110分
ヒロシマ、ナガサキ、ビキニ事件、そして原発で働く労働者。核エネルギーの被害者たち、それに抗う人がバトンを受け取るように熱い証言者として登場する。

■祝福(いのり)の海 東条雅之監督 2017年104分
上関原発建設に反対する山口県祝島の「海」、原発事故が起きた福島の「海」、そして私たちの中にある「海」。これらの命のつながりを描く。

■被ばく牛と生きる 松原保監督 2017年104分
被ばくした牛たちを殺処分することなく、活かし続ける畜産農家たちの静かで熱い闘いの記録。

■原発の町を追われて1~3部 堀切さとみ監督 2017年100分
全世帯が避難勧告を受けた双葉町。放射能から逃げるしかなかった人々の6年間を見つめた。3部作を一挙上映。

■日本と再生 光と風のギガワット作戦 河合弘之監督 2017年100分
世界を駆動させるのは、原発ではなく、あふれる自然の力だ。地球をひと回りして、太陽・風・地熱・バイオマスの自然エネルギーを見に行こう。

■アトムとピース~瑠衣子 長崎の祈り~ 新田義貴監督 2015年94分
「原爆」と「原発」は何が違うのか? 被爆3世の旅。放射能の恐ろしさを知っているはずの日本人がなぜ原発事故を起こし、いまでも原発にこだわるのか。

■アトミック・マム M.Tシルビア監督 2010年87分
母はかつて生物学者としてアメリカの原爆開発に携わっていた。監督は母の謎に迫り次第に真実が明らかになっていく。併せて広島市の被爆者と出会う。

■「知事抹殺」の真実 我孫子亘監督 2016年80分
地方分権の旗を掲げ、国の原子力エネルギー政策に異を唱えた知事が、2006年、突然降って沸いたような「汚職事件」で辞任。逮捕された謎に迫る。

■逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者 飯田基晴監督 2012年74分
未曾有の大災害で障害を持つ人々に何が起きたのか? 被災地の障害者・関わる人々の証言をまとめた記録。(製作/東北関東大震災障害者救援本部)

■祭の馬 松林要樹監督 2013年74分
津波でケガを負った黒鹿毛の牡馬ミラーズクエスト。一頭の競走馬の数奇な運命を優しく見つめた。「相馬看花」に続く松林監督作品。

■SHIDAMYOJIN(羊歯明神) 遠藤ミチロウ、小沢和史監督 2017年71分
福島出身のミュージシャン 遠藤ミチロウを追ったロード"パンク! ×民謡! ×盆踊り!"ドキュメンタリー。

■終の住処を奪われて 福島原発被害東京訴訟原告団 2017年37分
被害者であり、科学者である原告・鴨下祐也を中心に、避難生活の困難さ、原発事故は終息していないことを訴える。

■MARCH 中村和彦監督 2016年37分
MARCHは三月そして行進の意。散り散りになった南相馬の小学校のマーチングバンドが再結成。愛媛FCとの奇跡の絆が生まれていく。

■武蔵大学永田浩三ゼミ4作品 2017年95分

『帰れない・福島県浪江町 門馬昌子さん』(22分)『わたしたちが生き延びた意味について』(25分ラジオドラマ)『ある日突然・アスベスト住民被害』(25分)『国は嘘をつく・木村まき 横浜事件を生きる』(23分)

3/11(日)

ふるとう

ギャラリー古藤

武蔵大学正門斜向かい
東京都練馬区栄町 9-16
江古田駅南口徒歩 6分

各回40名定員制
予約優先入場

予約(大人)
すると200円
割引です

チケット

■映画1本につき
[大人] 予約1,000円 当日1,200円
[大学生・ハンデのある方] 800円
高校生以下無料
チケット3枚つづり 2,700円
トークがある場合も上記料金に含まれます。
◎「羊歯明神」「終の住処を奪われて」は2本セット
◎武蔵大学永田ゼミ制作作品は500円

お申込み

■電話・メールでの予約をお願いします。
メールアドレス

fwge7555@mb.infoweb.ne.jp

☎ 03(3948)5328

HPは「ギャラリー古藤」で検索

江古田映画祭 facebook ページ

https://www.facebook.com/ekodaeigasai

主催 江古田映画祭実行委員会
後援 みどりのまちづくりセンター

協力 ギャラリー水・土・木
(練馬区小竹町 1-44-1 ☎3955-2508)

3月8日(木)~3月13日(火)

靛島庸二 2人展シリーズ

浅川洋「不在の庭」+

靛島庸二「火山列島の神話」